

UNIVERSITY OF TENNESSEE



印出奏美・大越美記・新保香純・関根大樹・高波優・長尾大喜・初貝嘉仁
同行教員：鎌田 亮 先生

UNIVERSITY OF TENNESSEE



テネシー大学は、アメリカ東部テネシー州ノックスビルに位置する州立総合大学です。獣医学以外に、医学、建築学、経済学、法学、心理学など全て合わせて120以上の専攻が有り、学生数は約21000人とかなり大規模な大学です。

UNIVERSITY OF TENNESSEE



面積は2.27平方km、東京ドーム約48個分とかなり広いため、学内にはスクールバスが何本も走っており、学生はそれに乗って移動します。
また、構内にはVOL SHOPという大学のグッズを販売している店が有り、Tシャツ・帽子・スウェットなど様々なグッズが置いてあって愛校心がとても強く感じられました。



テネシー大学が立地しているノックスビルは、大都市でも田舎でもない中堅都市という印象でした。大学近くの大通りには飲食店や薬局、スーパーが並んでおり特に不便なことは無かったです。大学から歩いて10分ほどでダウンタウンにも行けました。

クリニカルローテーション スケジュール(一例)

8/29	8/30	8/31	9/2	9/6	9/7	9/8	9/9
エキゾ	エキゾ	行動学	小動物 内科	小動物 内科	小動物 リハビリ	小動物 リハビリ	症例 発表会
馬 リハビリ	馬 リハビリ	行動学	大動物	大動物	エキゾ	エキゾ	症例 発表会

クリニカルローテーションは、ここに書いてるように基本的に1つの科を大体2日で回りました。

各科に4年生と教授や、VTさんが居ました。テネシー大学の学生は2週間単位でローテーションしているとのことでした。

今回はみんなが、クリニカルローテーションで回った科について紹介します。

Small Animal Rehabilitation



小動物リハビリ科についてです。

日本では動物のリハビリにあまり馴染みがないかもしれませんが、テネシー大学はアメリカの獣医大学の中で最も大きなリハビリ施設を持ち、力を入れている科の一つです。

バランスボールやウォーキングマシン、バランスボード、ハードルのほかにも酸素カプセルやイヌ用プール、Under water treadmillという水中内ランニングマシンなどがあり、非常に整った設備に驚きました。他大学ではリハビリはナースの仕事だったりするらしいのですが、テネシーはリハビリ科にも獣医師が常在し、スタッフも多く、診察や治療も毎日行なわれているそうです。

UNDER WATER TREADMILL



Under water treadmillの動画です。犬種や症状などによって歩くスピードや時間を調節していました。

僕がいたローテーション期間では、毎日数件のUnder water treadmillを見ることができました。

リハビリ科にくる患者さんは外科手術後の患者さん、椎間板ヘルニアなどによる麻痺をもつ患者さん、肥満、関節炎を持つ患者さんが多かったです。アメリカのイヌは太っている子が非常に多く、それが原因で関節炎を起こし、痩せさせようとしても痛くて運動できずさらに太る、といった悪循環が起こりやすいそうです。水中では浮力により体重を支える力が軽減し、痛みなく運動して鍛えたりできるため、さまざまなリハビリにUnder water treadmillが使われていました。

Small Animal Rehabilitation



他にも、赤外線による治療なども行われていました。

SOFT TISSUE



Soft tissue (軟部外科)についてお話ししたいと思います。Soft tissueの部屋は orthopedics(整形外科)と同じ部屋でした。

僕は2日間いたのですが、一日目はオペ予定の患畜の受け入れ日だったのですが、急きょオペが入りました。二日目はオペが3件行われていました。

診察は他の科と同様に学生がすでに診察室にいるオーナーのもとに行き、問診をして患畜をお預かりして一般的な身体検査をこなし、先生と一緒に他に行う検査だったり、オペのプランだったりを考えていきます。診察が終わると学生と先生の間で自分が担当している患畜についてディスカッションしていました。

自分が見たオペは腹腔鏡による卵巣子宮摘出術、耳道切除、胃拡張・捻転症候群などのオペを見学しました。

あと、耳道切除を行うパピヨンについてはCTを撮った時に、鎮静剤の投与をさせてもらいました。

軟部外科で日本と違うのは、腹腔鏡などの技術が発達しているため日本に比べると腹腔鏡を使う頻度がかなり高いと思います。そのため日本ではあまりみられないような腹腔鏡を使ったオペや大学病院ならではの難しい症例のオペなどが見れます。

また、オペの最中に先生が台を使って上から見せてもらい切除する部分や部位について教えてもらいました。

SOFT TISSUE



これは見学したオペの一例で、画像が鮮明ではないため見にくいですが両側の肛門嚢を切除しているところです。

日本とは違ったやり方で切除していて、こんなやり方もあるんだなと思い自分はこの症例をプレゼンテーションで発表しました。

この患畜は両側の慢性肛門嚢炎を患った子で、オペ前日に入院したときも元気だったのですが肛門嚢の部分からかなりにおいがしました。

なので、両方の肛門嚢を切除しました。

オペ室は思ったより狭かったです。海外では日本と違い獣医の中でも麻酔科医の分野が確立されています。自分は一応軟部外科に見学に来ていたのですが麻酔も気になったので麻酔科医の人に麻酔について聞いたら快く答えてくれました。

オペは終わり次第次のオペが始まるためあまり休憩がなさそうなイメージでした。

Small Animal Medicine



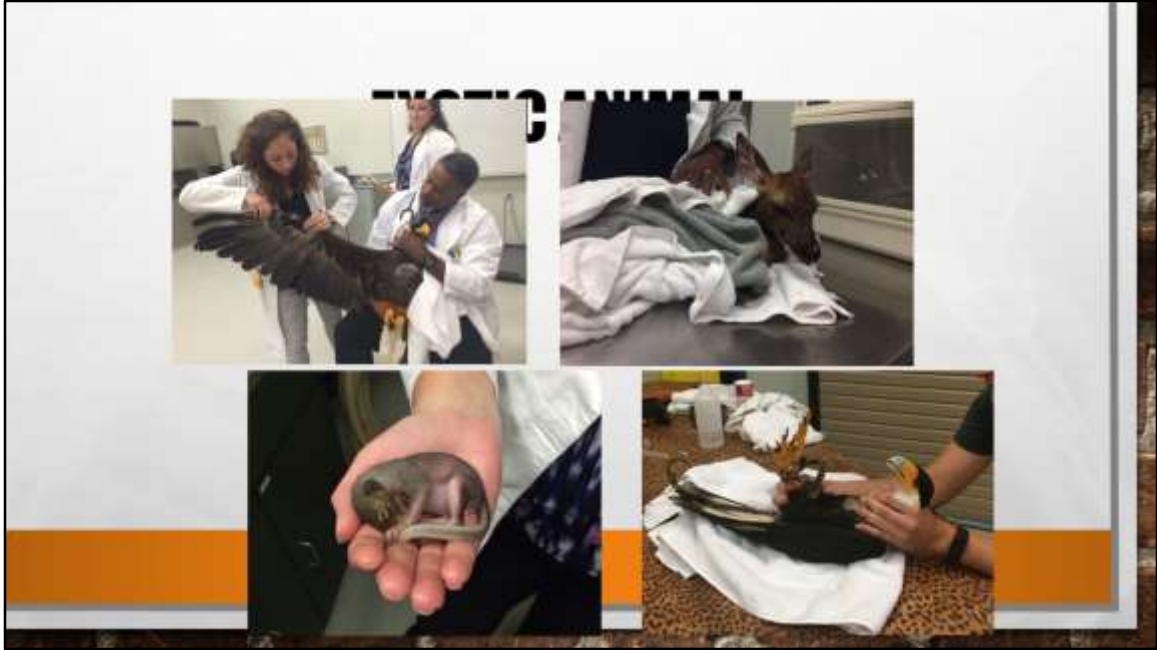
次はスモールアニマルメディスンについてです。

こちらは特に日本とは異なるところはあまりなく、毎日数件の患者がほかの病院から紹介され、より詳しい検査を行い治療方針を決めていくといった感じでした。基本的に午前中に診察を行い、午後の診察の後には学生と先生を含めて、その日の症例についての報告と、そこで見られた症状に関連することについてディスカッションを行っていました。そのディスカッションでは学生に質問をし、毎回なぜそういうふうに考えたのかという理由を答えさせていました。ここでは主に外科的処置を使わない内科的治療が中心ですが、腹腔鏡や内視鏡によるバイオプシーも行っており、実際にはエキゾチックできた動物の肝臓のバイオプシーをこの科の人が担当していました。

ここには1日しかいなかったのですが、かなり多くの内科疾患をみることができました。

実際にここの学生の人についていき、診察に入らせてもらいました。基本的な問診は学生がやっていたのですが、かなり慣れた感じでした。

学生のころから実際に飼い主さんの前に出て話すのは海外の獣医学部ならではのなと思います。



ウサギの子 ミルクやり

フクロウの体重測定

モルモットの遺体 飼い主さんへ手形を送る

タカの解剖 死因解明

EXOTIC ANIMAL



リス

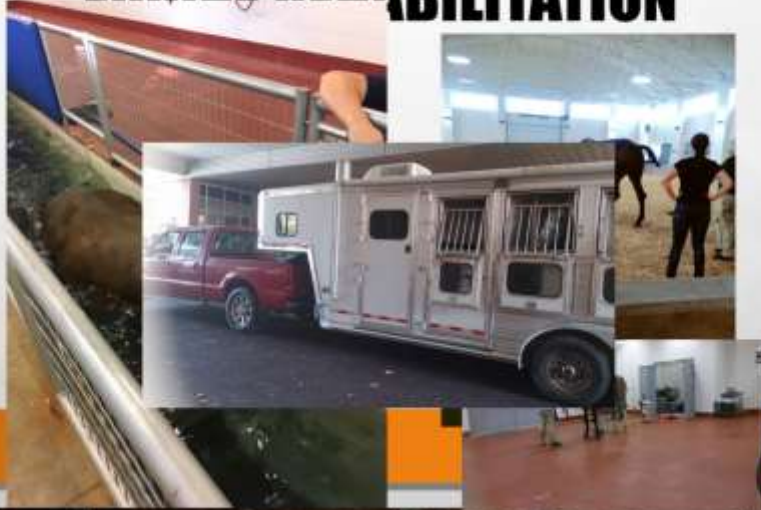
寄生虫ウサギヒフバエの摘出、寄生部分は消毒and液体を入れていた
摘出したウサギヒフバエはホルマリン漬け



トラ
右後肢の骨折
聴診もさせてもらえる

13時から22時まで手術

EQUINE REHABILITATION



白内障

THERIOGENOLOGY



Soft tissue (軟部外科)についてお話したいと思います。Soft tissueの部屋は orthopedics (整形外科)と同じ部屋でした。

私は2日間いたのですが、一日目にオペ2件、二日目はオペ予定の患畜の受け入れが行われていました。

診察は他の科と同様に学生がすでに診察室にいるオーナーのもとに行き、問診をして患畜をお預かりして一般的な身体検査をこなし、先生と一緒に他に行う検査だったり、オペのプランだったりを考えていきます。

PRESENTATION



この写真は門脈体循環シャント(PSS)のオペの時のもので、シャント血管にアメロイドリングをはめた場面です。

オペは術者は先生ですが、助手にはオペをする患畜を担当している学生が入っていました。教えてもらいつつ進めていき、オペの最中に他の見学している学生に問題を出してみたり、見た方がいいよ、といった場面では一人ずつに説明しながら見せたりと実際に目の前で見ながら行われる、実践的な授業といった感じでした。

シャント血管の同定にはエコー検査によってシャント血管を見つけ、その後シンチグラフィによって確定しているそうです。

オペをした先生はPSSのオペが速いことで有名だそうで、開腹して臓器を避けてすぐにシャント血管を見つけて1時間もかからずにオペは終わりました。

生活面

1. 宿泊施設
2. 買い物
3. 食事
4. その他

私の方からは生活面について御覧の4項目に分けて紹介させていただきます。

1. 宿泊施設

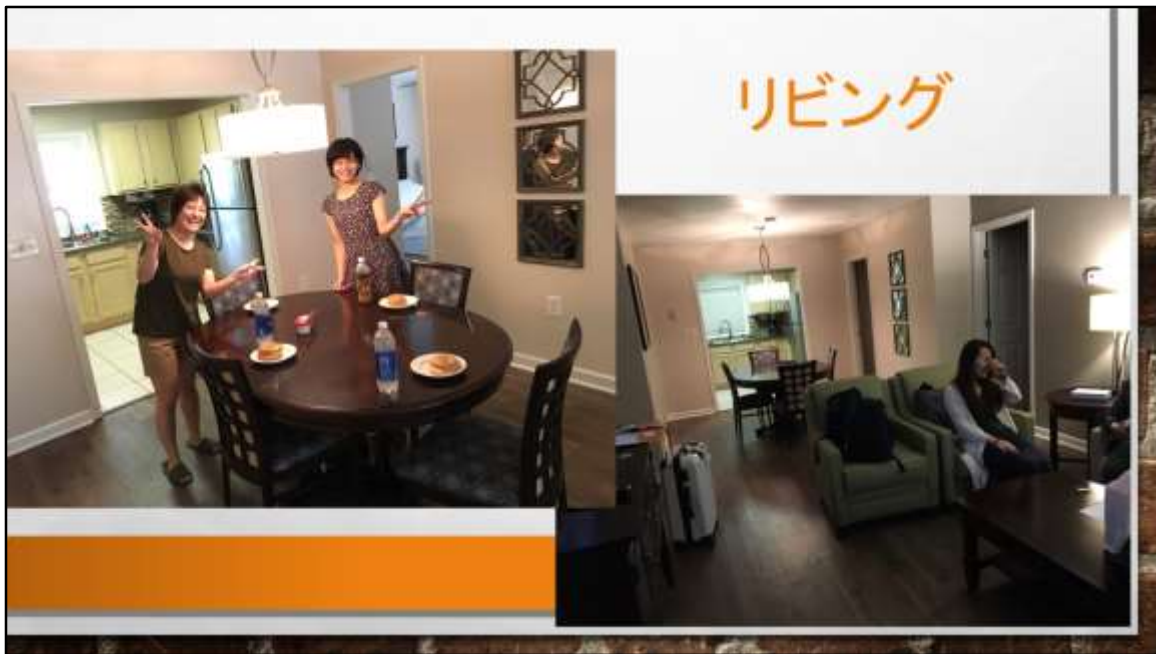


まずは宿泊施設について。

今回の研修では男性と女性で別々の寮に宿泊しました。

お互いの寮が離れていたため、寮に帰った後合流して行動するのが少し手間でしたが、

来年からは女性陣が宿泊した寮に全員が宿泊するよう検討するとカーク先生が仰っていました。なので今日は女性陣が宿泊した方の寮について紹介したいと思います。



女性陣が宿泊したのはテネシー大学の学生さんたちも生活している寮の一室でした。外からドアを開けて入ると部屋は御覧のようになっております。まず部屋の手前には大きなテレビとソファがあり、奥にはダイニングとキッチンがありました。また、四方に4部屋の個室がありました。



キッチンはこのようになっていました。

冷蔵庫から電子レンジ、オーブン、IH、トースターなどなど、炊飯器以外すべて揃っていたので、普段の自炊では苦労しませんでした。

学生寮にこのような大きなオーブンがあるのはアメリカらしいと思います。



個室についてですが、それぞれの部屋には大きなベッドだけでなく、テレビ、トイレ、バス、洗面所が完備されていたため、とっても快適でした。部屋には鍵がついているのでプライベートも確保できます。



お次は買い物についてです。

お土産用の買い物は休日に出かけた動物園やスモーキーマウンテン、カークが連れて行ってくださった大型ショッピングセンターなど様々な場所でできました。

今回は特に頻繁に利用したお店について紹介させていただきます。

WALMART



まずWalmartについてです。

普段の買い物は主にここを利用しました。Walmartは女子の寮から徒歩で10分ほどの距離にあり、食料から文房具、衣類、家具、スポーツ用品など何でもそろった、いわばイオンのようなショッピングセンターです。私たちはここで食料と水をまとめ買いし、朝食や夕食を自炊しました。

地元の人が普段から利用するショッピングセンターなので観光客向けのお土産ではなく、アメリカの人が本当に使っているものをお土産としてここで購入するのもいいと思います。

私はここでレインボーケーキが作れるケーキミックスを買って実家で作ったところ、大変好評でした。

walmartの周りにはペット用品店やファストフード店などいろいろな専門店があります。

VOL SHOP



次はボルショップについてです。

ボルショップとはテネシーの文字やロゴがプリントされた、いわばテネシーグッズを専門に売っているお店です。

テネシー住民の方々は地元愛に溢れており、多くの方がテネシーと書かれた洋服を着ています。

ボルショップは様々な場所にあり、私たちはwalmartにある店、女子の寮の近くの通りにある店、大学近くにある店の3店舗に行きました。

それぞれの店舗にて微妙に品ぞろえが異なるのでボルショップ巡りも面白いです。

また、写真にはありませんが大学内にも売店があり、私が今着ているテネシー大学獣医学部オリジナルのパーカーやTシャツ、獣医学関連の本などを売っています。



3. 食事

次は食事についてお話しします。

アメリカの食事はどれも美味しくて私は幸せでした。マズかったものといえばこの写真の赤、青、白の3色のアイスだけでした。

カロリーが高そうな料理もたくさん食べましたが研修生活がハードだったため体重は1キロ程度しか増えませんでした。

宿泊施設周辺



宿泊施設の近くには大きな通りがあり、様々な店が建ち並んでいました。
なのでよくみんなで合流し、その通りの面白そうなお店でご飯を食べました。
スターバックスもこの通りにあります。
どのお店の料理も美味しかったです。



また、カーク先生が様々なお店に連れて行ってくださいました。どのお店も絶品でした。

このリブローズはBBQが大好きなアメリカ人のソウルフード的料理で、お肉が柔らかくでとってもおいしかったです。

おすすめのカーク先生の日本料理店ではこのような、いかにもアメリカで食べられてそうなカルフォルニアロールだけでなく、日本のと全く同じ握りずしもありました。

テネシーは内陸にあるにもかかわらずネタが新鮮でおいしかったです。シャリに関してもお寿司に関しては白米を使っているようでした。

しかしお寿司が六巻で1800円したのはカルチャーショックでした。

自炊



外出しない日や普段の朝ご飯は自分たちで自炊をしました。
女子の寮に集まってみんなで食事会をして楽しみました。



4. その他

- 英語
- **KIRK**先生！
- **HANA HENRY** さん！



最後はその他についてです。

・英語についてはある程度の日常会話ができれば生活には困りませんでした。しかし大学で研修中に英語で質問をしたり、ネイティブの会話を聞き取るのはかなり難しかったです。

渡米前は当然英語の勉強はしていましたが、思うように会話できず挫折しそうになることも多かったです。

しかし自分の英語が通じた時の喜びは大きいですし、本場の英語にもまれた事で私は英語に対するモチベーションが渡米以前よりむしろ渡米後の方が上がりました。

たとえ英語が思うように話せなかったとしても必ずそこから得られることはあります。英語に自信が無いという方でもぜひアメリカ研修に挑戦してほしいです。

・カーク先生はアメリカにいる間、生活面と研修面ですべてサポートしてくださった先生です。カーク先生には来年の研修生も大変お世話になると思います。

ネコが大好きな方なので日本からのお土産はネコグッズがおすすめです。

・そして、テネシー大学で出会ったHanaHenryさんについて紹介します。HanaHenryさんは獣医学部の3年生で、祖父が日本人です。

なので日本に興味があり、来年この北里大学に研修に来る予定だそうです。来日の日程は未定ですが北里に来た際にはどうぞ親切にしてあげてください。

私たちはポケモンGOOについて話しましたが大変盛り上がりました(笑)

アジアンフェスティバル



観光、アクティビティ、休日の過ごし方...

アメリカに到着した翌日の日曜、ノックスビルのダウンタウン散策もかねて
ダウンタウンで行われているアジアンフェスティバルへ

日本だと折り紙や浴衣といった、アジア圏の国ごとの文化の紹介を出店形式で行っ
ており、

ステージ上では剣道など武道の演武やダンスなどが行われていた。

アメフト



今年は運良く、滞在期間中に大学フットボールの開幕戦がホームゲームであり、観戦に行くことが出来た。

ホームゲームだったため、観戦客のほとんどがテネシー大学の応援だった。

テネシー大学のスクールカラーがオレンジ色と白色ということもあって、スタジアムはその二色でだいたい埋められていた。

テネシー大学のフットボールチームはテネシー・ボランティアーズといい、VOLKSの愛称で呼ばれていた。



スタジアムは、全米で3番目に大きいということもあって、スケールが非常に大きかった。

カーク先生曰く、チーム自体はあまり強くないということだったが、

試合は延長戦の末、勝ち越して、勝利するというとても熱い試合で、とても面白い試合だった。



テネシー大学から車で10分ほどの距離
上野動物園と同じくらいの大きさ
ただ、動物の飼育スペースが日本のものより広くとられているように感じた。
ラクダに乗ることが出来たりもした。
見ることが出来る動物種は、30種くらい

ノックスビル動物園



ここに出ているコモドドラゴン レッサーパンダ サイ プレーリードッグ ブラッグベア
他にもゾウやキリンはもちろん、アルマジロや、鳥類や爬虫類など幅広い動物が飼育されていました。

(また、園内で誕生日会や結婚式なども開くことができるということでした。)

great smoky mountains national park



日曜日はGreat Smoky Mountains National Parkへ連れて行っていただきました。ここでは教会や丸太小屋を訪れ、大自然に生きたアメリカの開拓者の生活を垣間見ました。Kirk先生が、アメリカの歴史といっても日本などに比べたら浅いものよねと仰っていたのを覚えています。あたりを切り開き、小屋を建てて生活していた様子を目の当たりにすると、アメリカという大国の礎を作った方の力強さを感じました。その後はハイキングへまいりました。川のせせらぎが聞こえる中、どこまでも広がる草原や青々と生い茂る木々の中を散策しました。さらさらと涼しげに流れる沢で遊んだり、目の前に広がる美しい自然な景色を楽しみ、足をとめてしばし眺めては、幾度もカメラに収めました。ふと足元に目を落とすと美しい花がたくさん咲いており、また、幸運にも野生のブラックベアや七面鳥に遭遇することができました。



翌日は月曜日でしたが、9月の第一月曜日はLabor day労働者の日という祝日で、多くの学校では夏休み最後の日にあたります。夏の終わりにふさわしく、テネシーに行ったからには欠かすことのできないActivity、raftingを楽しみました。charmingなインストラクターさんの掛け声で、みんなで息をあわせてパドルを漕ぎます。日本では味わうことのできないような急流で水しぶきを浴びたり、流れが緩やかなところではボートを下りて泳いだり、まさにアメリカの大自然に溶け込みました。サングラスをも突き抜けるかのような熱い日差しには、ひんやりとした川の水が心地よかったです。Kirk先生や旦那様のGeorgeさんのお陰様で、アメリカンな納涼を存分に満喫した週末でした。



最後に、あの2週間は楽しく有意義で、私たちにとって大きな財産となりました。Kirk先生や鎌田先生をはじめ、お力添えくださった皆様への感謝の気持ちをもちまして、テネシー大学のプレゼンテーションをお終いにさせていただきます。ありがとうございました。